

壁面扉はブレースのない面に取り付けてください。ブレースのある面に取り付けたい場合は本体の組立説明書を参照し、ブレースの位置を変更してください。(ブレースを省くことは強度上できません。)

●梱包別部品一覧表

壁面扉の組み立てには、下記部品が必要です。梱包内の部品数を確認の上、組立順序にしたがって組み立ててください。

●SNR-3M・T・G共通部材		
梱包番号 B9-6003	部 品 名 数	梱包番号 B9-6321
壁面扉枠左 H	1	壁面扉正面パネル H
壁面扉枠右 H	1	壁面扉中 H (K-3)
壁面扉鴨居 (K-3)	1	壁面扉前 H (K-3)
壁面扉敷居 (K-3)	1	
M6 ボルト	24	
ネジ板	13	
ネジ板 C	3	
戸車調整用ボルト	2	
M6×20樹脂ボルト	2	
M6樹脂ワッシャー	2	
φ4×13テクスネジ	8	
ボルトキャップ(NGR)	8	
組立説明書	1	

●SNR-3M		
梱包番号 B9-6505	部 品 名 数	
扉枠支柱左 M	1	
扉枠支柱右 M	1	
		梱包番号 B9-6228
扉上壁パネル M	3	
扉上パネルカバー M	1	

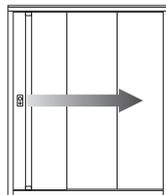
●SNR-3T		
梱包番号 B9-6503	部 品 名 数	
扉枠支柱左 T	1	
扉枠支柱右 T	1	
		梱包番号 B9-6220
扉上壁パネル T	3	
扉上パネルカバー T	1	

●SNR-3G		
梱包番号 B9-6504	部 品 名 数	
扉枠支柱左 G	1	
扉枠支柱右 G	1	
		梱包番号 B9-6223
扉上壁パネル G	3	
扉上パネルカバー G	1	

(注) 部品袋に入ってるボルト・ネジ板は標準型パネル仕様の不足分です。

■扉を逆開きにする方法

扉は標準(工場出荷時)では、左開きにセットされています。



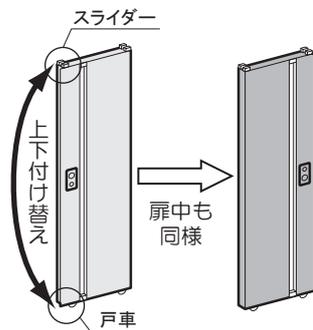
左開き(標準)



※右開き(下記参照)

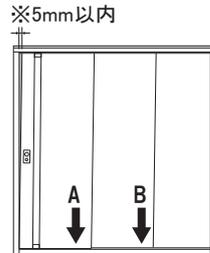
右開きにする場合は、

- 「5」で敷居のネジ止めを反対にします。
- 「8」で正面パネルを反対に取り付けます。
- 「10」で扉の戸車とスライダを上下付け替え、扉を上下逆にして取り付けます。(右図参照)

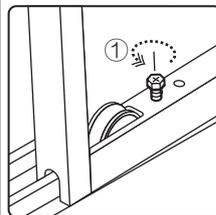


★戸当たり調整

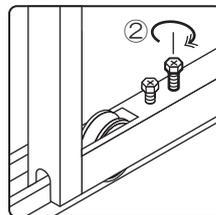
扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A・B部の戸車を①②③の手順で調整してください。



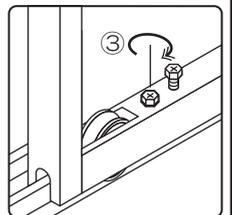
※5mm以上のスキマや下記の要領で調整できない時は、土台の水平を直してください。



① 戸車を固定しているボルトを4~5回転ゆるめる。



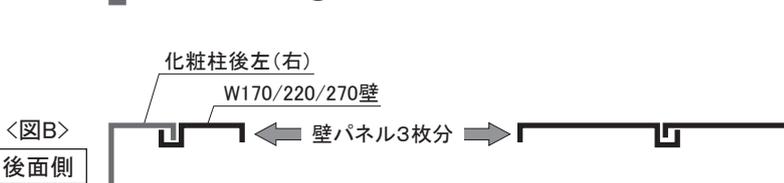
② 部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。



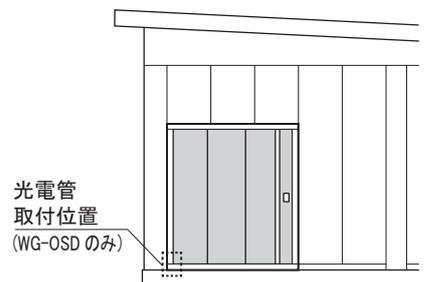
③ 最初にゆるめたボルトを締め付ける。

■取付上の注意

- 壁パネルと壁パネル、化粧柱と壁パネルとの間に壁面扉を取り付ける場合は、必ず図Aのように壁パネルのフラットな面が内側に来るようにしてください。
- 後面は化粧柱の横に取り付けできませんが、W170/220/270壁の横には取り付け可能です。(図B参照)
- WG-OSD(オーバースライド)の化粧柱前寄りに壁面扉を付ける場合は、正面パネルを化粧柱前寄りになるように取り付けてください。(図C参照)



＜図C＞ WG-OSD(オーバースライド)の化粧柱前寄りに壁面扉を取り付ける場合

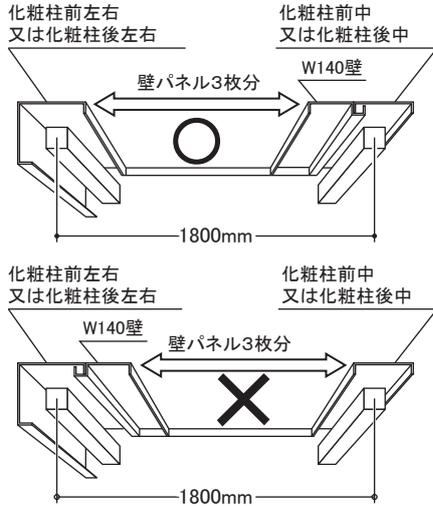


光電管
取付位置
(WG-OSDのみ)

正面パネルを化粧柱前寄りになるようにしてください。(開口部の足元に光電管が設置されるため)

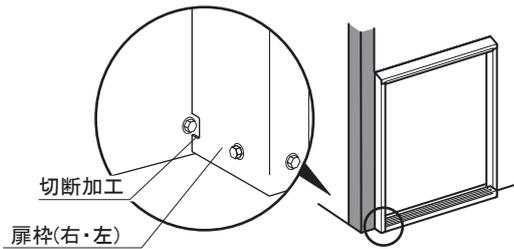
■前面壁ハーフタイプに取り付ける場合

化粧柱前左右、又は化粧柱後左右の隣に取り付けてください。W140壁を化粧柱前左右、又は化粧柱後左右の隣に取り付けると、化粧柱前中、又は化粧柱後中側に胴縁取付金具が取り付けできなくなります。



●扉枠の加工

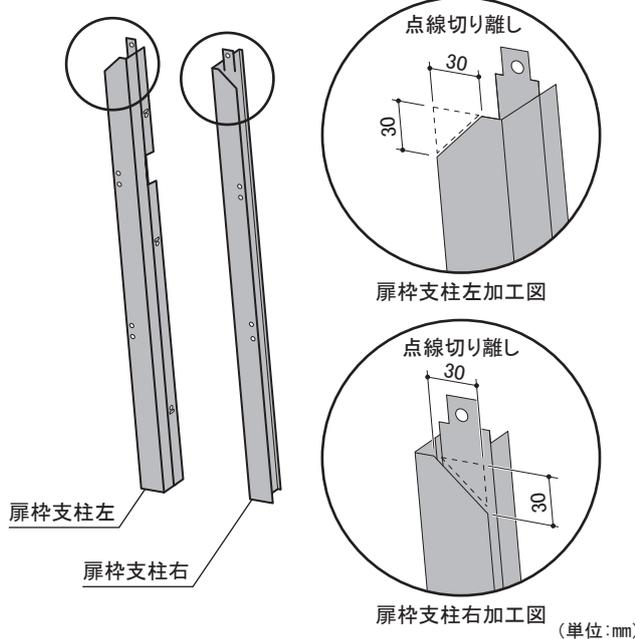
柱寄りになる扉枠左右(「6」で組立)は、組立前に点線の切欠きに沿ってカットしてください。
※化粧柱のボルトが扉枠と干渉するため。



●扉枠支柱の加工

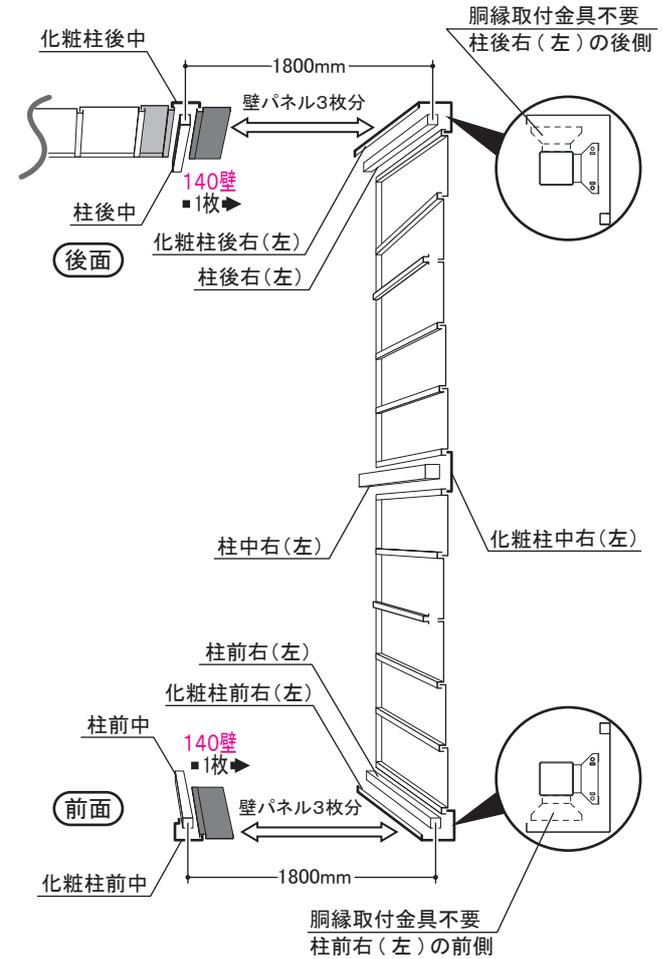
前面に取り付ける場合、柱前右(左)寄りになる扉枠支柱(「7」で組立)は、組立前に上端を斜めにカットしてください。前上胴縁取付金具と扉枠支柱が干渉するため。
※後面に取り付ける場合、カットは必要ありません。

扉枠のカットはなるべく本体から離れた場所で行い、切粉は必ず除去してください。
また切断面からはサビが発生しますので、必ず補修塗料でタッチアップしてください。

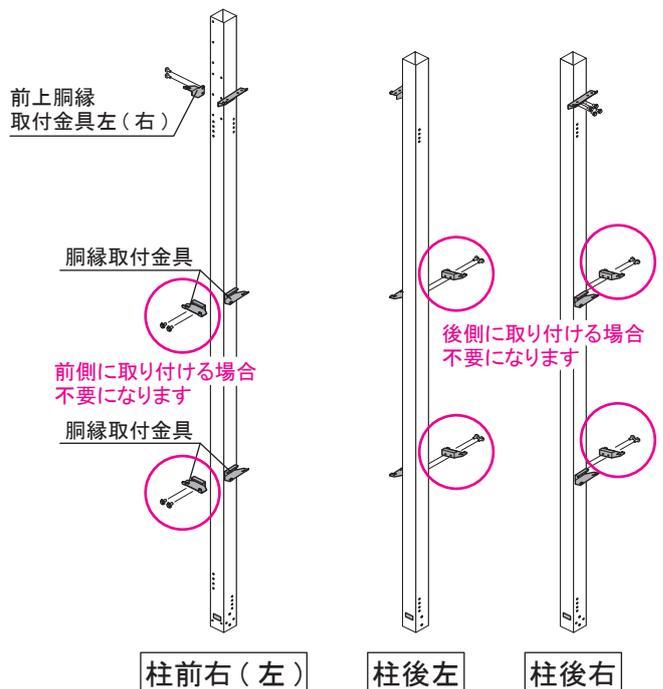


●胴縁取付金具・胴縁

前面壁ハーフタイプの前面・後面(柱間ピッチが1800mmの面)に壁面扉を取り付ける場合、胴縁取付金具の取り付けが不要になる箇所があります。

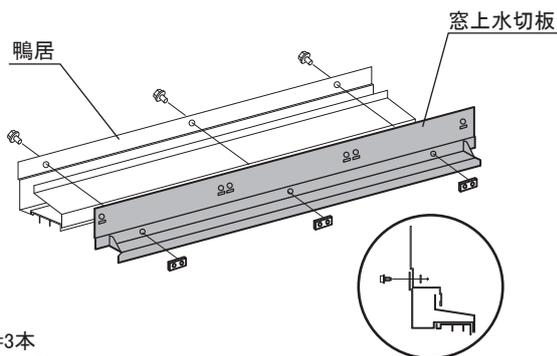


前面に取り付ける場合は柱前右(左)の前側、後面に取り付ける場合は柱後右(左)の後側の胴縁取付金具と胴縁が不要になります。(9.胴縁取付参照)
オプションの取り付け位置を確認してから胴縁取付金具を柱に取り付けてください。



1.扉上水切板取付

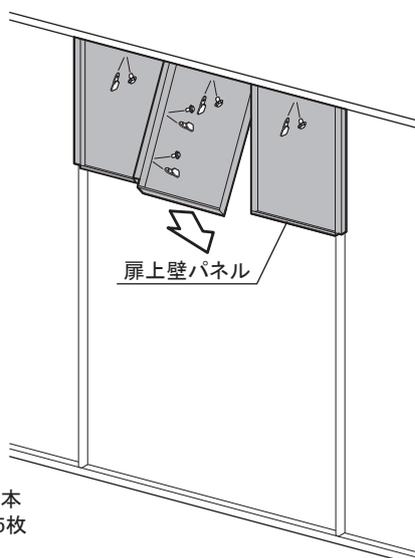
鴨居に扉上水切板をネジ板Cで取り付けます。



ボルト=3本
ネジ板C=3枚

2.扉上壁パネル取付

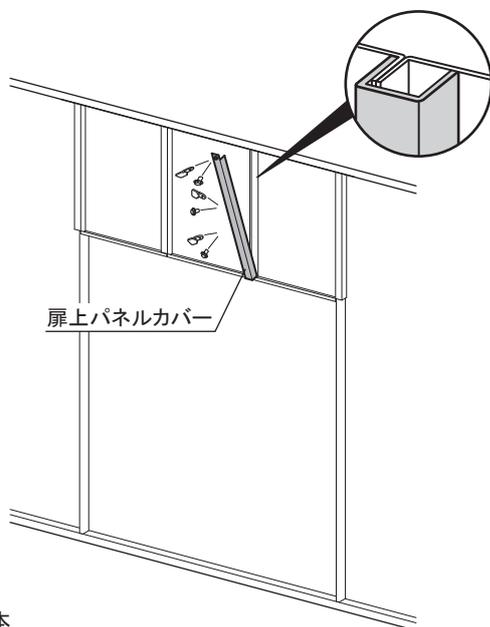
扉上壁パネルをボルトとネジ板で取り付けます。



ボルト=5本
ネジ板=5枚

3.扉上パネルカバー取付

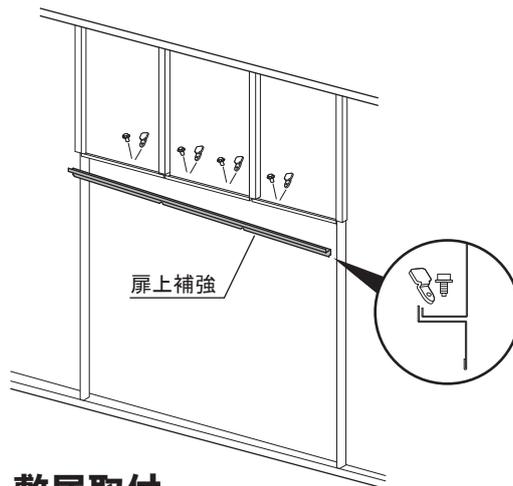
扉上パネルカバーは図のように取り付けてください。



ボルト=3本
ネジ板=3枚

4.扉上補強取付

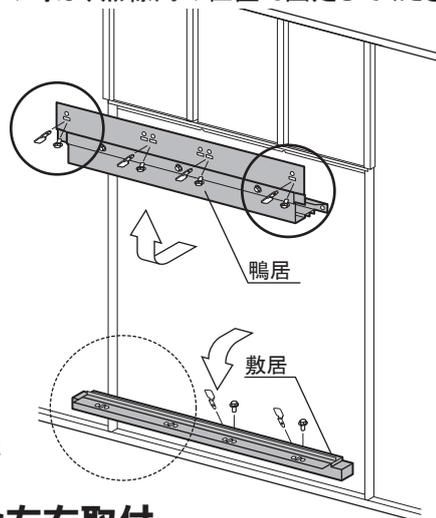
扉上補強をボルトとネジ板で取り付けます。



ボルト=4本
ネジ板=4枚

5.鴨居・敷居取付

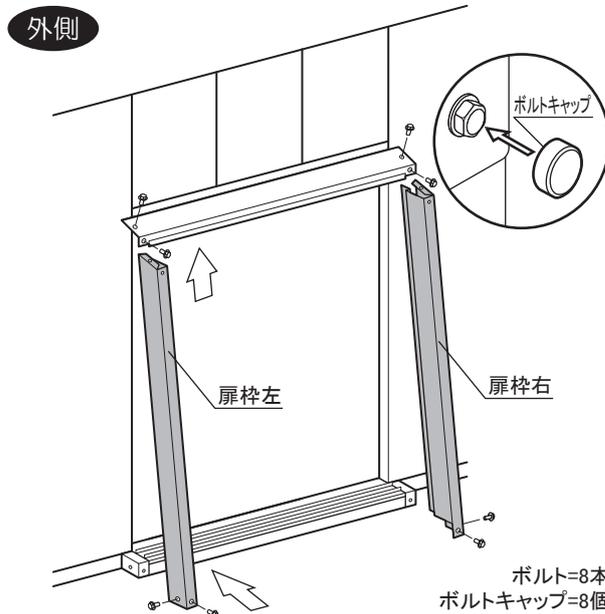
扉上壁パネルに鴨居をボルトとネジ板で取り付け、敷居を土台にボルトとネジ板で取り付けます。
※Mタイプの時、実線内のボルトとネジ板はまだとめないでください。(扉枠支柱と共締めします)
※右開きの時は、点線内の位置で固定してください。



ボルト=6本
ネジ板=6枚

6.扉枠左右取付

扉枠左、扉枠右を鴨居と敷居にボルトで取り付け、ボルトキャップを取り付けます。

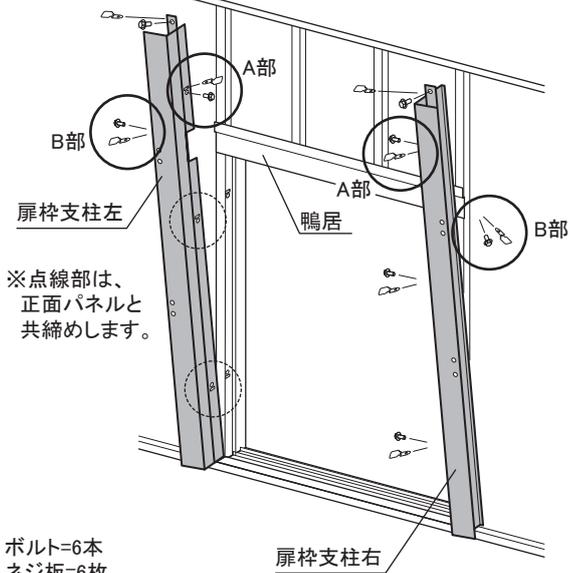


外側

ボルト=8本
ボルトキャップ=8個

7.扉枠支柱左右取付

扉枠支柱左右をボルトとネジ板で取り付けます。
 ※Mタイプの時、A部のボルトとネジ板はありませんが、
 B部を鴨居と共締めしてください。

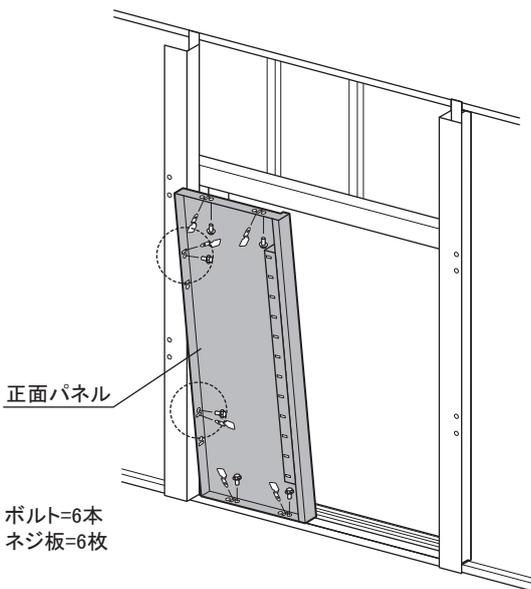


※点線部は、
 正面パネルと
 共締めします。

ボルト=6本
 ネジ板=6枚

8.正面パネル取付

正面パネルをボルトとネジ板で取り付けます。
 ※右開きの時は、正面パネルを右側に取り付けます。

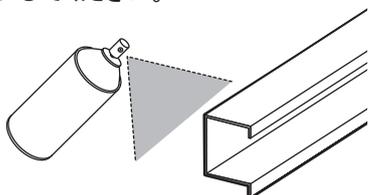


ボルト=6本
 ネジ板=6枚

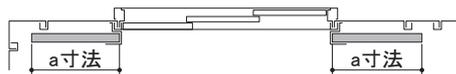
9.胴縁取付

胴縁は、壁面扉の端から柱までの間に取り付けます。
 ①～③の取付位置に合った長さ(右上表参照)でカットし、
 扉枠支柱にテクスネジで取り付けてください。
 ※カット寸法は、-5mm以内で切ってください。

胴縁の切断はなるべく本体から離れた場所で行い、切粉
 はかならず除去してください。
 また切断面からはサビが発生しますので、必ず補修塗料
 でタッチアップしてください。



①側面に付ける時

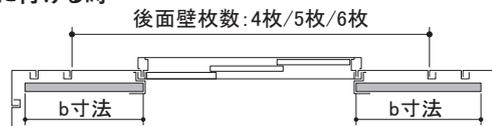


<a寸法>

胴縁取付面の壁枚数	0枚	145
1枚	645	
2枚	1145	

(単位:mm)

②後面に付ける時

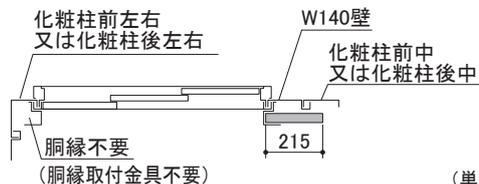


<b寸法>

胴縁取付面の壁枚数	後面壁枚数		
	4枚の機種	5枚の機種	6枚の機種
0枚	345	245	295
1枚	845	745	795
2枚	-	1245	1295
3枚	-	-	1795

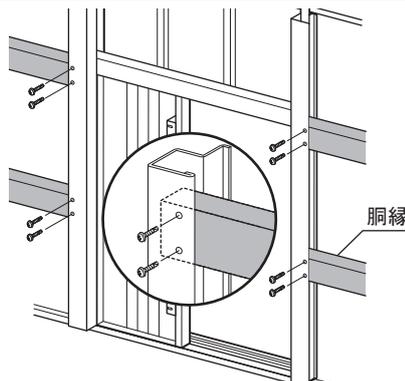
(単位:mm)

③前面壁ハーフタイプに付ける時



(単位:mm)

内側

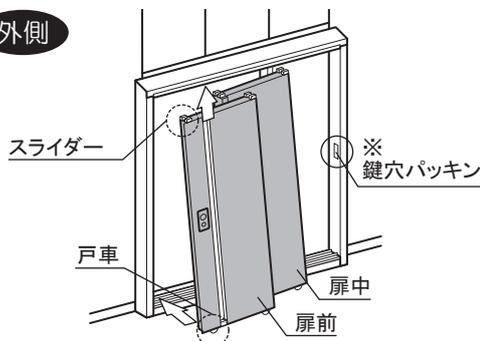


テクスネジ=8本

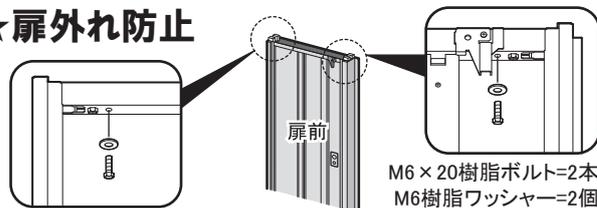
10.扉取付・完成

扉中・扉前の順にスライダを鴨居のレールに差し込み、
 戸車を敷居のレールにのせ扉をはめ込みます。
 ※右開きの時は、鍵穴パッキンを反対側に取り付けます。

外側



★扉外れ防止



扉を取り付けた後、扉前の上部にあるスライダを止めているボルトの隣の穴に樹脂ボルトを左右2ヶ所止めます。
 ※扉を外す時はこのボルトをゆるめてください。